

教 育 要 覧

— 令 和 4 年 度 —

竹 原 市 教 育 委 員 会

目 次

I 竹原市の概要	1
II 令和4年度竹原市教育行政の目標	2
III 教育長及び教育委員の構成	3
IV 教育委員会事務局の構成・事務分掌	3
V 教育費科目別当初予算の推移	6
VI 竹原市立小学校・中学校・義務教育学校の現況	7
VII 生涯学習の現況	23
VIII 図書館	28
IX たけはら美術館	31
X 令和4年度竹原市教育委員会の主要な事業	33

I 竹原市の概要



市章

City Insignia

竹を題材とし、竹の輪は市民の和を表し、三方に広がる笹は平和で豊かな繁栄を象徴する。

昭和38(1963)年選定

1 地 勢

面積118.23km²(東西21.2km・南北14.7km)竹原市は、広島県沿岸部のほぼ中央に位置し、東・北・西を山で囲まれているが、南部は広く瀬戸内海に面している。市の中央を流れる賀茂川の流域と沿岸部に平野が広がっておりその周辺に人口が集中して市街地を形成して居る。また、年間平均気温15.9度、年間降水量1679.5mmと温暖な気候にも恵まれ、南部地域では、ぶどう・じゃがいも等の農作物の栽培が盛んで、市の特産物となっている。

(面積 令和4年1月1日現在、 気温・降水量 令和3年1月分～令和3年12月分)

2 歴 史

市北部には壮大な古墳群があり、縄文時代の遺跡や古墳時代の横穴式石室が発見されており、今から約3,000年前の昔から人々の生活が営まれていたと推定される。

大化の改新(645年)後、古代山陽道が整備されて都宇駅が置かれ、古くから交通の要所であった。平安時代には京都下鴨神社の荘園となり、竹原荘と呼ばれた(1090年)。鎌倉時代には竹原小早川家が創設され(1258年)、小早川家の隆盛と共に竹原は発展した。

江戸時代に入浜式塩田が開かれ(1650年)、竹原は急速に発展し、瀬戸内海屈指の製塩地として繁栄した。この豊かな経済基盤に支えられ儒学等が栄え、頼家一門を始めとする多くの文人、学者が生まれた。

明治時代に入ると、古くから商港として栄えた忠海に、豊田郡役所(1878年)や税務署(1896年)等が置かれ、豊田郡の中心地として大いに栄えた。昭和10年の呉線全線開通と、同12年の昭和鉱業(現三井金属鉱業)操業により近代的都市へと躍進した。

竹原町は、昭和27年から同31年までに下野村・東野村・大乘村・南方村の小梨地区、そして荘野村・田万里村及び吉名村と賀永村の仁賀地区を編入し、昭和33年に忠海町と合併して市制を施行し、現在に至っている。

3 人口・世帯数の推移 (令和4年4月30日現在)

(1) 人 口 23,848人
男 11,387人
女 12,461人

(2) 世帯数 12,082世帯



Ⅱ 令和4年度竹原市教育行政の目標

竹原市は、本格的な人口減少社会が到来する中、持続可能な都市として発展していくため、本市の強みである「人と人の顔が見えるコミュニティ」を未来への礎として、市民と行政が一体となってまちづくりに取り組み、賑わいや活力を生み出していくため、平成31年3月「第6次竹原市総合計画」を策定した。この計画ではめざすまちの姿を『元気と笑顔が織り成す暮らし誇らし、竹原市』と定め、市民と行政が目指すべきまちの姿を共有し、それぞれが自身の役割と責任を担いながら、地域課題を一緒に解決することにより、誰もが住みやすさを実感し、誇らしいと思えるまちづくりを目指している。

教育施策を『夢をもち、多様な人と協働し、社会を主体的に生き抜くことができる人材の育成』と定め、安心と自信をもち子育てができるまち、子供の夢を応援するまち、知徳体のバランスのとれた子供の育成ができるまち、そしてすべての人がさまざまな特性や違いを超えてお互いを尊重し、それぞれの能力を発揮できるまちづくりを目指している。市民一人一人が、生きがいのある豊かな市民生活を送ることができるために、教育行政の果たす役割は非常に重要である。

平成31年3月に策定した「竹原市教育大綱」では、これまでの取組を継承するとともに、目指すべき姿を、「夢を持ち、多様な人々と協働し、社会を主体的に生き抜くことができる人材を育成している」、「多彩な生涯学習の場が充実し、それらを担い、推進していく人材が育っている」、「教育上特別な配慮を必要とする児童生徒等への適切な支援をはじめ、乳幼児から青少年まで健全に成長できる環境が充実している」、「歴史と文化財が保存され・継承され、地域の活性化に活かされている」と定め、安心と自信をもち子育てができる環境の充実、次代を担う子どもの育成、生涯にわたり地域で生きいきと活躍できる生涯学習の推進、文化財の更なる活用、魅力づくりの具体化を図る。

教育行政の目標

- 1 「夢をもち、多様な人と協働し、社会を主体的に生き抜くことができる人材の育成」を目指し、「地域とともにある信頼される学校づくりの推進」「幼保小連携教育の推進」「確かな学力の向上」「豊かな心の育成」「健やかな体の育成」「充実した教育環境づくり」を基本方針とした、開かれた学校づくりの推進、幼保小接続カリキュラムの編成・実施、基礎学力の定着・向上、主体的な学びの創造、道德教育の充実、小中一貫教育の推進
- 2 多彩な生涯学習の場の充実及び推進していく人材の育成を目指して、「生涯学習拠点・機会の充実」「学校と地域の協働による生涯学習の推進」「スポーツ・芸術の振興」
- 3 歴史と文化財が保存・継承され地域の活性化に活かされることを目指して、「文化財の保存・継承の推進」「文化財の活用の推進」「歴史資産の普及啓発の推進」
- 4 青少年が健全に成長出来ることを目指して、「青少年の健全育成に向けた環境づくりの推進」

Ⅲ 教育長及び教育委員の構成

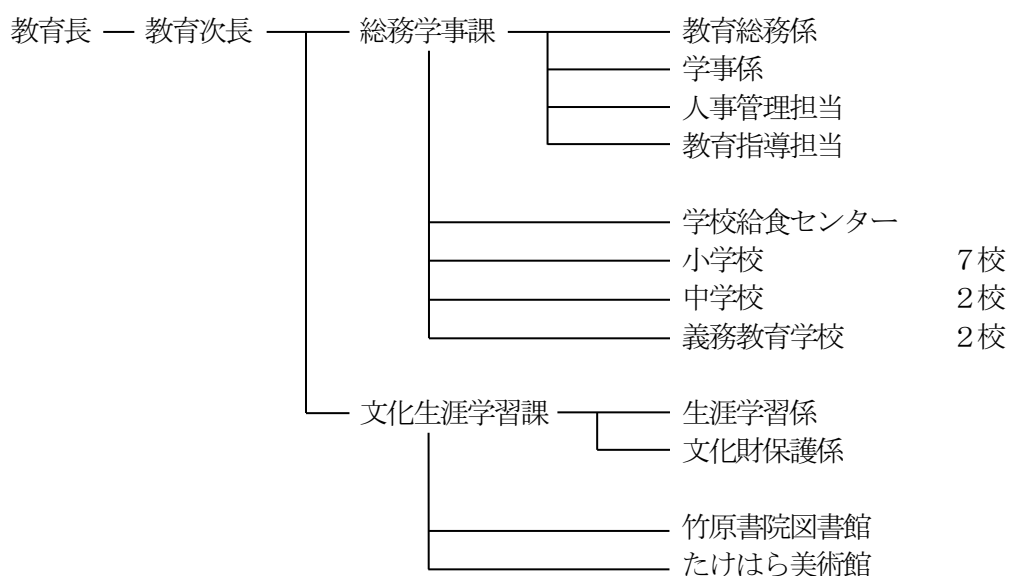
(令和4年5月1日現在)

役 職 名	氏 名	最 初 の 就 任 年 月 日
		任 期 満 了 年 月 日
教育長	高 田 英 弘	平成30年 4月 1日
		令和 7年 6月20日
教育長職務代理者	浅 野 稔	平成25年 2月 1日
		令和 7年 1月31日
委 員	竹 下 純 子	平成31年 2月 1日
		令和 5年 1月31日
委 員	西 川 敏 博	平成31年 2月 1日
		令和 5年 1月31日
委 員	有 田 志 穂	令和 4年 1月31日
		令和 8年 1月30日
委 員	平 田 和 也	令和 2年 6月21日
		令和 6年 6月20日

Ⅳ 教育委員会事務局の構成・事務分掌

1 教育委員会の機構

- (1) 所在地 竹原市中央五丁目1番35号
- (2) 事務局・学校その他の教育機関



2 竹原市教育委員会事務局事務分掌

総務学事課

教育総務係

- (1) 教育委員会の会議に関すること。
- (2) 教育行政の企画及び総合調整に関すること。
- (3) 教育委員会の権限に属する事務の補助執行に係る連絡調整に関すること。
- (4) 教育委員会及び学校その他の教育機関の市費負担職員の任免給与の人事に関すること。
- (5) 公印の管守に関すること。
- (6) 公文書の受付，発送及び整理に関すること。
- (7) 教育委員会に係る歳入歳出予算に関すること。
- (8) 調査統計に関すること。（他課に属さないもの）
- (9) 教育財産の取得及び処分に関すること。
- (10) 教育委員会規則等の制定又は改廃に関すること。
- (11) 請願，陳情等に関すること。
- (12) 叙勲申請等に関すること。
- (13) 教育行政相談に関すること。
- (14) 教育委員会各課の連絡調整に関すること。
- (15) 総合教育会議の連絡調整に関すること。
- (16) その他，課の庶務に関すること。
- (17) その他，他の課の所掌に属しない事項に関すること。

学事係

- (1) 通学区域に関すること。
- (2) 児童及び生徒の就学に関すること。
- (3) 教職員並びに児童生徒の保健，安全，厚生，福祉及び環境衛生に関すること。
- (4) 教具その他備品に関すること。
- (5) 就学援助，就学奨励に関すること。
- (6) 学校給食に関すること。
- (7) 学校等施設に関すること。
- (8) 奨学金に関すること。
- (9) その他学校教育に関すること。

人事管理担当

- (1) 校長，教職員等県費負担職員の任免，給与その他人事に関すること。
- (2) 学級編制に関すること。
- (3) 学校経営の指導及び支援等に関すること。

教育指導担当

- (1) 学校教育の調査統計に関すること。
- (2) 学校図書館に関すること。
- (3) 学校関係諸機関との連絡に関すること。
- (4) 教育課程に関すること。
- (5) 教育内容に関すること。
- (6) 学習指導に関すること。
- (7) 生徒指導に関すること。
- (8) 教職員の研修に関すること。
- (9) 教科書の採択に関すること。
- (10) 適応指導教室に関すること。

文化生涯学習課

生涯学習係

- (1) 社会教育委員及び社会教育関係委員に関すること。
- (2) 生涯学習の推進に関すること。
- (3) スポーツ推進審議会委員に関すること。
- (4) スポーツ推進委員に関すること。
- (5) スポーツの振興に関すること。
- (6) スポーツ関係施設に関すること。
- (7) 芸術文化に関すること。
- (8) たけはら美術館の管理運営に関すること。
- (9) 教育集会所の管理運営に関すること。
- (10) 市立竹原書院図書館に関すること。
- (11) その他生涯学習に関すること。
- (12) 課内庶務に関すること。

文化財保護係

- (1) 文化財及び関係施設に関すること。
- (2) 市史に関すること。
- (3) 歴史的風致維持向上計画（文化・文化財部門）に関すること。
- (4) 町並み保存センターに関すること。
- (5) 歴史民俗資料館に関すること。

V 教育費科目別当初予算の推移

(単位：千円)

科 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
教 育 費	877,934	842,492	758,187	758,093	913,445
教育総務費	193,151	179,802	203,817	185,278	174,756
教育委員会費	2,881	3,006	2,993	2,861	2,907
事務局費	126,392	113,570	133,481	111,571	93,395
教育指導費	62,862	62,254	66,442	69,961	77,961
就学奨励費	1,016	972	901	885	493
小 学 校 費	193,648	183,249	180,655	182,730	290,123
学校管理費	165,180	156,873	143,705	158,316	264,659
教育振興費	28,468	26,376	36,950	24,414	25,464
中 学 校 費	92,343	186,529	94,057	97,746	142,072
学校管理費	73,035	168,157	78,099	74,471	119,742
教育振興費	19,308	18,372	15,958	23,275	22,330
幼 稚 園 費	37,865	28,690	廃目	廃目	廃目
幼稚園費	37,802	28,690	廃目	廃目	廃目
教育振興費	63	0	廃目	廃目	廃目
社会教育費	257,849	161,476	176,264	183,200	198,821
社会教育総務費	40,898	40,401	45,664	58,906	55,846
公民館費	75,056	廃目	廃目	廃目	廃目
図書館費	54,902	55,134	56,570	53,937	53,885
青少年指導費	4,391	4,381	2,656	廃目	廃目
文化財保護費	41,976	25,826	44,437	50,519	67,165
美術館費	36,004	34,181	25,353	18,298	20,018
文化振興費	4,322	1,553	1,584	1,540	1,907
保健体育費	103,078	102,746	103,394	109,139	107,673
保健体育総務費	8,325	7,890	7,262	7,469	6,924
体育施設費	2,203	1,724	1,571	1,482	1,474
学校給食費	92,550	93,132	94,561	100,188	99,275

VI 竹原市立小学校・中学校・義務教育学校の現況



夢をもち、多様な人々と協働し、社会を主体的に
生き抜くことができる人材の育成

学校における働き方改革の推進

基本方針	主な取組	具体的施策
地域とともにある 信頼される 学校づくりの推進	○ 地域とともにある学校づくりの推進【重点】 ○ 学校の自主性・自律性の確立 ○ 人材育成の推進	◎ コミュニティ・スクールの推進・充実 ○ 主体的で創意工夫のある教育活動の展開 ○ 組織マネジメントによる計画的・組織的・継続的な人材育成 ○ 竹原の子供を愛する活力ある教職員の育成 ○ 不祥事防止委員会の機能化と服務規律の確保
幼保小連携教育 の推進	○ 連携体制の充実【重点】 ○ 接続カリキュラムの改善・充実	◎ 子供の育ちや学びをつなぐための接続体制の充実（協議会設置） ○ 育みたい資質・能力を考慮した接続カリキュラムの活用 （社会福祉課と連携）
「確かな学力」 の向上	○ 基礎学力の定着・向上【重点】 ○ ICT活用教育の推進【重点】 ○ 主体的な学びの創造 ○ 特別支援教育の推進 ○ ことばの教育の推進	◎ 学力等に課題がある児童生徒への指導の充実 ◎ 「個別最適な学び」の実現を目指した初・中・高の活用教育の充実 ○ 探究的な学習の充実に向けた授業の実践・改善 ○ 英語による言語活動を基盤とした国際教育の推進 ○ 個の実能や合理的配慮を踏まえたきめ細かい指導や支援の充実 ○ 創意工夫を生かした読書活動の推進
「豊かな心」 の育成	○ 生徒指導の充実【重点】 ○ 道徳教育の充実 ○ 体験活動の充実 ○ 伝統・文化等に関する教育の推進 ○ キャリア教育の推進	◎ 組織的な生徒指導体制及び教育相談体制の確立 ○ 考え議論する道徳科の授業改善 ○ 体験活動を通して資質・能力の育成 ○ 地域教材を活用した教育活動の充実 ○ キャリア教育の視点に立った進路指導の充実
「健やかな体」 の育成	○ 体力づくりの充実【重点】 ○ 健康教育の充実 ○ 食育の充実	◎ 運動やスポーツ好きな児童生徒の育成に向けた指導の工夫改善 ○ 早寝・早起き・朝ごはんの定着をめざした生活リズムの確立 ○ 学校給食指導を通じた日常的な食育の推進
充実した 教育環境づくり	○ 小中一貫教育の推進【重点】 ○ 学校の適正配置【重点】	◎ 育みたい資質・能力を明確にした、9年間を見通した指導の徹底 ◎ 適正配置計画の策定・推進

大乗小学校



郵便番号	729-2313		
所 在 地	竹原市高崎町 185 番地 7		
校 長	柏木 雅子		
学 級 数	7	児 童 数	54
電 話	0846-24-1155		
E メール	oonori-e@takehara.hiroshima-c.de.jp		

■校訓■ 一正しく 強く 仲よくー

■教育目標■
夢に向かって『主体的・協働的』に伸び合う
～気づき、考え、つながり、輝く～

■めざす子ども像■

力を合わせ きらり輝け 大乗っ子

主体的・協働的

自尊感情

■めざす学校像■

笑
しょう

楽
がっ

考
こう

《笑》顔であいさつ
《楽》しく学習・体験つながる
《考》える

■学区の概要■

校区は、市南東部、風光明媚な瀬戸内の波に沿うように広がっている。また、ピースリーホームバンパー総合公園や栽培漁業センターなど自然と関わりが深い施設があり、教育活動に活用している。また「福田の獅子舞」等、文化・伝統豊かな地域でもある。今年度よりコミュニティスクールとして始動する中、書道・太鼓・絵画・郷土史など造詣が深い地域の人材が学校教育に参画し、児童の学びをより豊かなものにしている。

■研究主題■

根拠や理由を明確にして自分の考えを表現できる児童の育成
ーカリキュラムマネジメントの改善と指導方法の工夫を通してー

■特色ある教育活動■

自分の伸びを実感する
確かな学力(知)

自己決定し協働できる
豊かな心(徳)

主体的に取り組む
健やかな体(体)

○キャリア教育、総合的な学習の時間を中心としたカリキュラムマネジメントの改善と授業改善を行います。

○各教科の見方・考え方を大事にした授業実践をします。

○確実に学力を定着させるための指導を行います。〈漢字・計算・読解〉

○キャリア教育での取組と手立ての工夫で自分の良さを見つめさせます。(キャリアノートを活用・PDCA)

○全校遊び・縦割り班活動などを計画的に行う中で、自己肯定感を育む活動を設定し、良い姿を肯定的に評価していきます。

○体育朝会や体育科の準備運動で課題になった項目の力を高める運動を取り入れます。また、体育科の学習指導を工夫し、スポーツの楽しさを感じさせます。

○睡眠の良さを感ぜられるような指導を行い、主体的に睡眠の質向上を意識できる児童を育てます。

竹原小学校

郵便番号	725-0023		
所 在 地	竹原市田ノ浦二丁目 5 番 1 号		
校 長	吉本 康隆		
学 級 数	10	児 童 数	189
電 話	0846-22-2105		
Eメール	takehara-e@takehara.hiroshima-c.ed.jp		

教育目標

自ら学び、つながり、発見する子供の育成

〈めざす子ども像〉

- 自分の思いや考えをはっきりと伝えられる子
- 自分で課題を見つけ最後まで努力できる子
- 笑顔に満ちあふれ、感謝と思いやりの心を持ち、高めあえる子

■学区の概要■

○本校の校区は、小京都「たけはら」と呼ばれる竹原市街のほぼ中央に位置し、往時は塩田で栄えた古くからの町である。背後には緑豊かな山々が連なり、前には瀬戸の海が広がる風光明媚な所である。

○校区には、江戸時代の町並みが残る「町並み保存地区」があり、周辺は主に商店街と住宅街である。



■研究主題■

主体的に問題を解決できる児童の育成

■特色ある教育活動■

【確かな学力】

○主体的・対話的で深い学びのある授業づくりの推進

○総合的な学習の時間の充実

○家庭学習の充実

【豊かな心】

○自己肯定感を高める取組の充実

○規範意識の向上

○道徳教育の充実

○企業との連携

【健やかな心】

○運動やスポーツ好きな児童を育成する取組の充実

○食育の充実

【信頼される学校】

○地域と一体となった特色ある学校づくり

○持続可能な社会の創造に向けた協働的な学びの推進

○幼保小中を見通した指導の徹底

○働き方改革の実現に向けた環境整備

中通小学校

郵便番号	725-0012		
所 在 地	竹原市下野町 3469 番地		
校 長	田中 真奈美		
学 級 数	8	児 童 数	112
電 話	0846-22-2606		
Eメール	nakadoori-e@takehara.hiroshima-c.ed.jp		

■教育目標■

自ら学び、ともに学び合い、ともに伸びる

■育てたい資質・能力■

- 課題発見・解決能力
- 思考力・表現力
- 協働する力
- 自己肯定感

■学区の概要■

西に朝日山（標高 454m）がそびえ、中央に北西から賀茂川が流れ、その河岸に、国道 2 号線より竹原市を結ぶ国道 432 号線が通り抜けている。また、沿道には大型スーパー、運輸会社、自動車販売会社などが並んでいる。地域の教育力が高く、学校と地域との連携により様々な活動が行われている。令和 3 年度より学校運営協議会制度を導入し、コミュニティ・スクールとなった。



■研究主題■

主体的に学び合い、考え、表現する児童の育成

～根拠を明確にして考えを表現する授業づくりを通して～

■特色ある教育活動■

知：確かな学力	徳：豊かな心	体：健やかな体
思考力・表現力の育成 ○「本質的な問い」による深い思考を促す授業づくり ○根拠を明確にした表現【真】 ○課題発見・解決学習の推進 ○学び合いの充実 ○振り返りのある授業 ○ICT 機器の効果的な活用 基礎・基本の定着 ○学習規律の徹底 ○パンブータイム ○家庭学習、学習習慣の確立 ○読書の習慣化	自己肯定感の育成 ○「中通小 3 つの自慢」の徹底 ○「挨拶・返事・聞き上手」 ○「もくもく掃除」の取組 ○キャリア教育の推進【真】 ○自己目標の設定と評価【真】 望ましい人間関係の形成 ○特別活動の充実 ○縦割り班活動の工夫 豊かな感性の育成 ○道徳教育の充実 ○地域との連携、感謝の心	体力の向上 ○体力テストの取組と分析 ○サーキットトレーニング ○七種競技検定 ○校内持久走大会 ○なわとび大会 基本的生活習慣の定着 ○食育指導・保健指導の推進 ○チャレンジカードの活用 「早寝・早起き・朝ごはん」 コロナウイルス感染症対策 ○感染防止対策の徹底

竹原西小学校

郵便番号	725-0021		
所 在 地	竹原市竹原町 2440 番地		
校 長	吉田 美和		
学 級 数	9	児 童 数	190
電 話	0846-22-0946		
Eメール	takeharanishi-e@takehara.hiroshima-c.ed.jp		

■教育目標■

主体的に学び ともに未来を創る

■めざす子ども像■

- 主体的に学ぶ児童
- 他者と協働して課題を解決する児童

■学区の概要■

竹原西小学校は、安芸の小京都と呼ばれる竹原市のほぼ中心に位置し、学校のすぐ東側を賀茂川が流れ周囲を葡萄畑や住宅地に囲まれた落ち着いた環境にある。明治 6 年創立の明親館を前身とする本校は、令和 3 年度から学校運営協議会制度を導入し、コミュニティ・スクールとしての歩みを進めている。

保護者も地域の方も協力的で、PTA 活動にも多くの参加があり、活気ある教育活動が行われている。



■研究主題■

主体的・協働的に学ぶ児童の育成

■特色ある教育活動■

主体的な学び	豊かな心	健やかな体
○学習の基盤となる能力の育成 ・自己表現活動【真】 ・読書活動の充実（どんどん読書） ・復習と活用（くんぐんタイム） ◎個別最適な学び ・個別タイムとサポートコーナー ・のびのびタイム ◎協働的な学び ・児童同士の多様な関わり合い ・地域や企業と連携した学習 ○ICT の効果的な活用 ○学力調査の分析と授業改善 ○課題発見・解決学習の推進 ○家庭学習の充実	◎自己肯定感を高める活動 ・児童の主体的な活動 ・キャリアアノートの活用【真】 ○いじめの未然防止、早期発見、迅速対応 ○不登校の未然防止、不登校等児童の支援 ・SSR（すくすくルーム） ・個別のサポート計画 ○道徳教育の充実 ○体験活動の充実 ・地域と連携した体験活動 ○特別支援教育 ・個の特性や発達に応じた指導	◎基本的な生活習慣の確立 ・毎月の生活目標と振り返り ・20 の約束の実施 ○計画的な体力づくり ・体力テストの分析と体力向上の取組【真】 ・体育朝会（各学年の体づくり運動等） ・ランタイム ・外遊びの充実 ○食育、健康教育の推進 ・食事・生活アンケートの取組 ・朝ごはん推進事業 ○幼保小連携教育の推進 【真】 小中一貫教育

東野小学校

郵便番号	725-0004		
所 在 地	竹原市東野町 914 番地		
校 長	徳森 友希男		
学 級 数	3	児 童 数	19
電 話	0846-29-0114		
Eメール	higashino-e@takehara.hiroshima-c.ed.jp		

■教育目標■

自ら学び、共に伸びる

■めざす子ども像■

気づき・考え・実行する子

■育てる資質・能力■

自己実現力 表現する力 協働する力

■学区の概要■

本校は、竹原市中心部と国道2号線を結ぶ国道432号線の中間の西側山麓に位置している。

町内の自治会・高齢者団体等は、学校の教育活動にとっても協力的であり、地域全体で子供たちを育てていこうという教育的風土がある。その中で、令和3年度からは、学校運営協議会を中心に、地域とともに高まる学校としての教育活動を推進している。



■研究主題■

主体的に学び合う児童生徒の育成

～思いや考えを伝え合うことを通して、自己実現力を育てる特別活動～

■特色ある教育活動■

今年のテーマ **Challenge** (笑顔・チャレンジ・ありがとう)

○主体的・対話的で深い学びの実現
特別活動における実践的な活動

○変化に対応し協働する心の育成

東野夢プロジェクト

東野版代表委員会の充実

レジリエンスルーム (ｽﾍﾞｰｼｬﾙｽﾎﾟｰﾄﾙｰﾑ) の活用

○健康を保持増進していく力の育成

東野生活がんばり week

○地域とともにある学校づくりの推進～東野ファミリー～
コミュニティ・スクールの推進

荘野小学校

郵便番号	725-0002		
所在地	竹原市西野町 2025 番地		
校長	藏本 利恵		
学級数	8	児童数	67
電話	0846-29-0002		
Eメール	shouno-e@takehara.hiroshima-c.ed.jp		

■教育目標■

夢とおもてなしの心をもった児童の育成

～地域とともに主体性と協働性を育む学校～

○夢や目標をもって挑戦する児童

○他者を理解し、力を合わせて伸びる児童

■学区の概要■

竹原市の北西部、国道2号線と432号線との交差点の西方に位置し、山に囲まれ、賀茂川、葛子川、田万里川が流れ、自然豊かな田園地帯にある。北東に横大道古墳、南に小早川隆景ゆかりの木村城址があるとともに、東西には旧山陽道が走っており、歴史的に古い町である。

保護者や地域の方は学校教育への関心が高い。PTA活動・ボランティア活動などを通して、多くの協力や支援をいただいている。令和3年度からは学校運営協議会を設置し、地域と学校が目指す児童像を共有し協働して教育を推進している。



■研究主題■

主体的に学び合う児童生徒の育成

～一人一人の学びを見つめ、ユニバーサルデザインの

視点を取り入れた算数科の授業づくり～

■特色ある教育活動■

知

知識・技能の習得

チャレンジタイム、教科担任制

主体的な学びの促進

対話による共有化に重点を置いた授業づくり

徳

人間関係形成能力の育成

なかよしタイム、異学年交流

試行錯誤力の育成

特別活動を通し、試行錯誤を経験させる。

体

体力の向上

ランニングタイム、なわとび達人

健康な生活習慣や態度の確立

生活がんばり週間

仁賀小学校

郵便番号	725-0005		
所在地	竹原市仁賀町 1280 番地		
校長	植野 洋一郎		
学級数	3	児童数	15
電話	0846-29-0307		
Eメール	nika-e@takehara.hiroshima-c.ed.jp		

■教育目標■

「自分で学び育つ みんなと共に伸びる」
～子どもはみな伸びる芽をもっている～

■学区の概要■

竹原市北西部に位置し、美しい賀茂川の流れて沿って田畑があり、山からは鹿や猪等が学校近くまで降りてくる姿がよく見かけられるなど、豊かな自然に恵まれている。地域・保護者の教育への関心は高く、学校行事や多くの体験学習に協力的である。美しい自然や地域の人たちに支えられ、地域合同行事や異学年集団による体験活動を通して、主体的に学ぶ学習を進めている。

平成13年度から、自然環境が豊かな小規模校で地域や学校が希望する学校を特別に指定し、保護者が希望する児童に特別に入学・転学を認める小規模校入学特別認可制度を実施している。



■研究主題■

「主体的に学び合う児童生徒の育成」
～算数科における資質・能力を育む授業づくり～

■特色ある教育活動■

【知】**基礎・基本の徹底**：個々の基礎学力の向上，小中連携による家庭学習の習慣化（小中9年間の学びをつなぐ），ICTの効果的な活用
主体的な学びの創造：複式授業の良さと強みを生かした指導法の工夫

【心】**協働性と自己肯定感の向上**：道徳科の授業改善，「学びに向かう力」の育成（感じる・考える・かかわる・感謝する），委員会活動や行事を通じた自己理解・他者理解，異学年活動の充実，仁賀ふるさと学習の深化（和太鼓演奏・養蜂・にじます飼育・ICTの活用等）

【体】**基本的生活習慣の定着・体力向上**：個別ファイルの活用
計画的な体力づくり（マラソン・一輪車・水泳・縄跳び等）
食育の推進（給食試食会，全校ランチルーム給食）

【信】**地域等への情報発信・信頼関係の構築**：地域の財産を生かしたコミュニティ・スクールの推進，行事の充実（仁賀小まつり，社会見学，運動会，一鉢配り，神明ばやし等）

竹原中学校

郵便番号	725-0012		
所在地	竹原市下野町 2230 番地		
校長	九十九 邦守		
学級数	11	生徒数	294
電話	0846-22-2045		
Eメール	takehara-takehara-j@takehara.hiroshima-c.ed.jp		



■校訓■

「求真」

■教育目標■

「踏み出す力」の育成

～自他を大切にするとともに、

学力と社会性の向上を目指し、実践する生徒～

■学区の概要■

南を瀬戸内海に面し、中央を賀茂川が流れる。竹原市は安芸の小京都と呼ばれ、製塩や酒造業で栄えた歴史と文化の薫り高い街である。

学区には竹原、竹原西、中通、大乘の4小学校があり、5つの小中学校で9年間を見据え、「自律の心に根ざした主体的な学びの創造」を教育指針とし、小中一貫教育を推進している。

■研究主題■

理由や根拠を明確にして自分の考えを表現する生徒の育成
～「問い」や「振り返り」にこだわる授業づくりを通して～

■特色ある教育活動■

- 知 確かな学力の定着を図るため、基礎的・基本的な知識・技能を定着させる。
・授業のユニバーサルデザイン化による授業改善
- 徳 望ましい集団や社会の在り方を理解させ、自己の目標の実現に向けて努力する生徒を育成する。
・自己肯定感、自己有用感のもてる生徒の育成
- 体 心身ともに健やかな生徒を育成する。
・体力づくりの推進
- コミュニティ・スクールの推進
コミュニティ・スクールを活用して、地域と連携しながら学校運営を推進する。

賀茂川中学校

郵便番号	725-0004		
所在地	竹原市東野町 2051 番地 1		
校長	北村 洋子		
学級数	5	生徒数	49
電話	0846-29-0200		
Eメール	takehara-kamogawa-j@takehara.hiroshima-c.ed.jp		



■学校教育目標■

世界に向かって 夢をもち

心豊かにたくましく生きる生徒の育成

○学習三則の徹底

＜自発・協同・鍛錬＞

○生活三則の徹底

＜挨拶励行・時間厳守・環境美化＞

■学区の概要■

本校の学区は、賀茂川の北部に位置し、市を貫いて流れる賀茂川の源流にある中学校区として知られている。山と川にかこまれた風光明媚な田園地帯にあり、豊かな自然に恵まれ、学校では懐かしい鐘の音が時を告げている。

地域や保護者の教育に寄せる期待と関心は高く、地域の子供の健全な育成にむけて熱心な活動がなされている。こうした地域や家庭の教育力に培われた生徒は素直で明るく、学校でも落ち着いた雰囲気での学習が進められている。

■研究主題■

「主体的に学び合う児童・生徒の育成」

～話し合い活動を主軸とした生徒の自治的活動を通して～

■特色ある教育活動■

- ◎連携：9年間を見通した小中連携の推進（合同行事、乗り入れ授業、体験授業）
- ◎心：道徳教育の充実
- ◎体：部活動の充実・食育の充実（自作弁当の日）
- ◎表現：話し合い、考えを交流する授業・NIEの推進
- ◎体験：福祉体験・職場体験・ボランティア活動（里帰り清掃）
- ◎生活：賀茂川スタンダード（特別支援教育の視点から）
- ◎安全：防災教育・集団下校・下校パトロール・地域合同避難訓練
- ◎自治：生徒会活動の充実
- ◎コミュニティ・スクールの推進：
育てたい生徒像を共有した、地域とともにある学校づくり

吉名学園

郵便番号	725-0013		
所 在 地	竹原市吉名町 2671 番地		
校 長	亀井 伸幸		
学 級 数	13	児童生徒数	130
電 話	0846-28-0205・0846-28-0203		
Eメール	yoshina-a@takehara.hiroshima-c.ed.jp		

■教育目標■

「拓く力」の育成

○ともに咲かそう 3つの笑顔！

- ・分かる喜び，学ぶ楽しさから生まれる笑顔
- ・感謝と思いやりの心から生まれる笑顔
- ・粘り強くやり切った満足から生まれる笑顔

■学区の概要■

本校は竹原市の西部に位置し，温暖な気候と自然に恵まれている。主な産業としてジャガイモの栽培や煉瓦工場で知られている。元内閣総理大臣の池田勇人を輩出した土地柄であり，地域の学校教育への関心は高い。地域全体で吉名町子どもたちを育てていこうという教育的風土がある。



■研究主題■

主体的に学び 自分の言葉で語る 児童生徒の育成
～郷土に学び 未来を拓く プロジェクト型学習を通して～

■特色ある教育活動■

- ◎主体的な学びの風土づくり
 - ・「YOSHINA 未来学」を中心に探究的な学習の在り方の研究を推進する
- ◎コミュニティ・スクールの推進
 - ・学校運営協議会制度を活用し，地域とともにある学校をめざす
- ◎特別支援教育の推進
 - ・一人一人の障害の実態や発達段階に応じたきめ細かな指導の充実を図る
- ◎進路指導の充実
 - ・基礎的・汎用的能力を育成し社会的・職業的自立に向け，体験的活動の充実を図る
- ◎教育環境の充実
 - ・働き方改革を通じた効率的な指導環境の整備や児童生徒と向き合う時間を確保する

忠海学園

郵便番号	729-2317		
所 在 地	竹原市忠海東町三丁目 9 番 1 号		
校 長	伊場田 真彦		
学 級 数	13	児童生徒数	181
電 話	0846-26-0929		
Eメール	tadanoumi-a@takehara.hiroshima-c.ed.jp		

■校訓■ 「広く・やさしく・元気よく」

■教育目標■ 「練 磨」

<協働的な学びを通して，練磨し合い，自己実現を図る児童生徒の育成>

■めざす子ども像■

礼儀礼節を重んじ，何事もねばり強くやり抜く児童生徒

■学区の概要■

忠海は竹原市の東に位置し，往時は商業で栄えた港町である。背後には緑豊かな黒滝山をはじめとする山々が連なり，前には大久野島の浮かぶ瀬戸の海が広がる風光明媚なところである。

海岸線に沿って瀬戸内さざなみ線，国道 185 号線が走り，近くには宮床海岸がある。



■研究主題■

新時代を切り拓く「21 世紀型スキル」の育成
～学校図書館の三機能を生かした

「忠海学習プラン」の取組を通して～

■特色ある教育活動■

義務教育学校の特徴を生かし，9年間を見通したカリキュラムを作成するとともに，ICT機器や学校図書館を活用し，世界や地域・家庭とつながりあう学校づくりを進める。

【広い学力】

- 読解力・活用力の育成
- ・読書活動や探求学習の推進

【やさしい心】

- 道徳的実践力の育成
- ・礼儀礼節のある態度の育成

【元気よい体】

- 体力の向上
- ・食育の推進，健康教育の推進，基本的生活習慣の確立

【信頼される学校】

- コミュニティ・スクール及び小中一貫教育の推進
- ・情報発信と働き方改革

1 小・中学校及び義務教育学校児童生徒数

(1) 小学校児童数

(令和4年5月1日現在)

校 番	学校名	児 童 数							
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	内81条学級	計
1	大 乗 小	2	7	6	12	11	16	2	54
2	竹 原 小	28	37	32	25	37	30	8	189
3	中 通 小	18	24	14	20	18	18	2	112
4	竹原西小	40	27	31	34	28	30	6	190
5	東 野 小	1	0	8	1	2	7	0	19
6	荘 野 小	5	8	12	18	9	15	2	67
7	仁 賀 小	2	3	1	3	2	4	0	15
小学校計		96	106	104	113	107	120	20	646

(2) 中学校生徒数

(令和4年5月1日現在)

校 番	学校名	生 徒 数				
		1年	2年	3年	内81条学級	計
1	竹 原 中	102	102	90	7	294
2	賀茂川中	17	13	19	3	49
中学校計		119	115	109	10	343

(3) 義務教育学校児童生徒数

(令和4年5月1日現在)

校 番	学校名	児 童 ・ 生 徒 数										
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	内81条学級	計
1	吉名学園	14	13	7	11	21	10	16	23	15	10	130
2	忠海学園	19	17	15	21	11	19	28	23	28	10	181
義務教育学校計		33	30	22	32	32	29	44	46	43	20	311

2 小・中学校及び義務教育学校学級数

(1) 小学校学級数

(令和4年5月1日現在)

校 番	学校名	学 級 数							
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	81条学級	計
1	大 乗 小	1	1	1	1	1	1	1	7
2	竹 原 小	2	1	1	1	1	1	3	10
3	中 通 小	1	1	1	1	1	1	2	8
4	竹原西小	1	1	1	1	1	1	2	8
5	東 野 小	1	0	0.5	0.5	0.5	0.5	0	3
6	莊 野 小	1	1	1	1	1	1	1	7
7	仁 賀 小	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0	3
小学校計		7.5	5.5	6	6	6	6	9	46

(2) 中学校学級数

(令和4年5月1日現在)

校 番	学校名	学 級 数				
		1年	2年	3年	81条学級	計
1	竹 原 中	3	3	3	2	11
2	賀茂川中	1	1	1	2	5
中学校計		4	4	4	4	16

(3) 義務教育学校学級数

(令和4年5月1日現在)

校 番	学校名	学 級 数										
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	81条学級	計
1	吉名学園	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4	13
2	忠海学園	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4	13
義務教育学校計		2	2	2	2	2	2	2	2	2	8	26

3 小・中学校及び義務教育学校教職員数

(令和4年5月1日現在)

校 番	校 名	計	教 職 員 数											
			県 費 教 職 員 数								市 費 教 職 員 数			
			校 長	教 頭	教指 諭導	教諭 教諭	短再 時任用 教諭	教養 諭護	教栄 諭養	職事 員務	職事 員務	用 務 員	介 助 員	補校 助 員務
1	大 乗 小	16	1	1	0	7	1	1	0	1	0	1	2	1
2	竹 原 小	32	1	1	0	15	1	1	1	1	1	2	7	1
3	中 通 小	18	1	1	0	9	1	1	0	1	0	1	2	1
4	竹原西小	26	1	1	0	14	0	1	0	1	0	2	4	2
5	東 野 小	9	1	1	0	2	1	1	0	1	0	1	1	0
6	荘 野 小	16	1	1	0	9	1	1	0	1	0	1	0	1
7	仁 賀 小	7	1	1	0	2	1	1	0	1	0	0	0	0
小学校計		124	7	7	0	58	6	7	1	7	1	8	16	6
1	竹 原 中	31	1	1	0	18	2	1	0	1	1	2	3	1
2	賀茂川中	16	1	1	0	9	0	1	0	1	0	2	1	0
中学校計		47	2	2	0	27	2	2	0	2	1	4	4	1
1	吉名学園	34	1	2	1	19	0	2	0	1	1	3	4	0
2	忠海学園	34	1	2	0	20	0	2	0	2	0	2	3	2
義務教育学校計		68	2	4	1	39	0	4	0	3	1	5	7	2
合 計		239	11	13	1	124	8	13	1	12	3	17	27	9

※ 市費教職員数は、会計年度任用職員等を含む

4 学校施設の現況

(1) 小学校

(令和4年5月1日現在)

学校名		大 乗	竹 原	中 通	竹原西	東 野	荘 野	仁 賀	合 計	
児童数		54	189	112	190	19	67	15	646	
校地	面積	20,780	20,292	13,618	19,133	9,345	13,313	5,951	102,432	
	1人当り	384.8	107.4	121.6	100.7	491.8	198.7	396.7	158.6	
校地のうち運動場	面積	12,045	9,600	8,180	10,465	5,212	7,295	2,101	54,898	
	1人当り	223.1	50.8	73.0	55.1	274.3	108.9	140.1	85.0	
建物面積(㎡)	校舎	2,910	5,463	2,404	3,955	2,079	2,265	1,078	20,154	
	屋体	1,100	1,396	997	919	846	808	789	6,855	
保有教室数	普通教室		7	10	8	9	6	8	3	51
	特別教室	理科	1	2	1	1	1	1	1	8
		音楽	1	2	1	1	1	1	1	8
		図工	1	1	1	1	1	1	1	7
		家庭	1	2	1	1	1	1	1	8
		図書	1	1	2	1	1	1	1	8
		コンピューター	1	1	0	1	1	1	1	6
		特別	2	2	1	4	1	0	0	10
		多目的	3	12	1	4	1	1	1	23
		教育相談	0	1	0	1	2	1	0	5
プール		25M 7 コース	25M 7 コース	25M 7 コース	25M 7 コース	25M 5 コース	25M 7 コース	25M 5 コース		
主要建物の 建築年月	校舎	昭和53年 1月	昭和51年 3月	昭和47年 3月	昭和44年 3月	昭和57年 3月	昭和63年 3月	平成 6年 3月		
	屋体	昭和55年 3月	平成26年 3月	昭和55年 3月	昭和62年 3月	昭和60年 3月	昭和63年 6月	平成11年 3月		
	プール	平成12年 3月	昭和49年 7月	昭和53年 7月	昭和54年 8月	昭和52年 8月	昭和58年 2月	昭和39年 9月		

(2) 中学校

学校名		竹 原	賀茂川	合 計	
生徒数		294	49	343	
校地	面積	38,198	20,638	58,836	
	1人当り	129.9	421.2	171.5	
校地のうち運動場	面積	26,001	13,287	39,288	
	1人当り	88.4	271.2	114.5	
建物面積(㎡)	校舎	7,311	3,200	10,511	
	屋体	1,471	941	2,412	
保有教室数	普通教室		11	5	16
	特別教室	理科	2	1	3
		音楽	2	1	3
		美術	2	1	3
		技術	3	2	5
		家庭	3	2	5
		視聴覚	1	1	2
		コンピューター	1	1	2
		図書	2	1	3
		特別	4	2	6
		多目的	12	3	15
教育相談	6	1	7		
プール		25M 7コース	25M 7コース		
主要建物の 建築年月	校舎	昭和48年 9月	昭和54年 8月		
	屋体	昭和49年10月	平成 2年 3月		
	プール	昭和51年 8月	平成 5年 3月		

※小学校「特別教室 特別」とは児童会室、少人数教室、通級学級等を示す。

※中学校「特別教室 特別」とは生徒会室、礼法室、少人数教室等を示す。

(3) 義務教育学校 (令和4年5月1日現在)

学校名		吉名学園	忠海学園	合 計	
児童生徒数		130	181	311	
校地	面積	41, 271	32, 254	73, 525	
	1人当り	317. 5	178. 2	236. 4	
校地のうち運動場	面積	16, 370	18, 560	34, 930	
	1人当り	125. 9	102. 5	112. 3	
建物面積(㎡)	校舎	3, 702	4, 773	8, 475	
	屋体	1, 012	1, 236	2, 248	
保有教室数	普通教室		13	13	26
	特別教室	理科	1	2	3
		音楽	1	1	2
		美術	1	1	2
		技術	1	2	3
		家庭	1	2	3
		図書	1	1	2
		コンピューター	1	1	2
		特別	6	4	10
		多目的	1	2	3
教育相談	1	3	4		
プール		25M 7 コース	25M 7 コース		
主要建物の 建築年月	校舎	昭和58年 1月	昭和50年 3月		
	屋体	昭和59年 3月	昭和52年3月		
	プール	昭和63年 3月	昭和55年10月		

※義務教育学校「特別教室 特別」とは
児童・生徒会室，礼法室，教科教室等を示す。

5 コミュニティ・スクールについて

本市では、令和2年度に4校へ学校運営協議会を設置し、先進的にコミュニティ・スクールとしてスタートさせた。

令和3年度からは、8校へ学校運営協議会の設置を広げ、市内全ての学校がコミュニティ・スクールとしてスタートした。

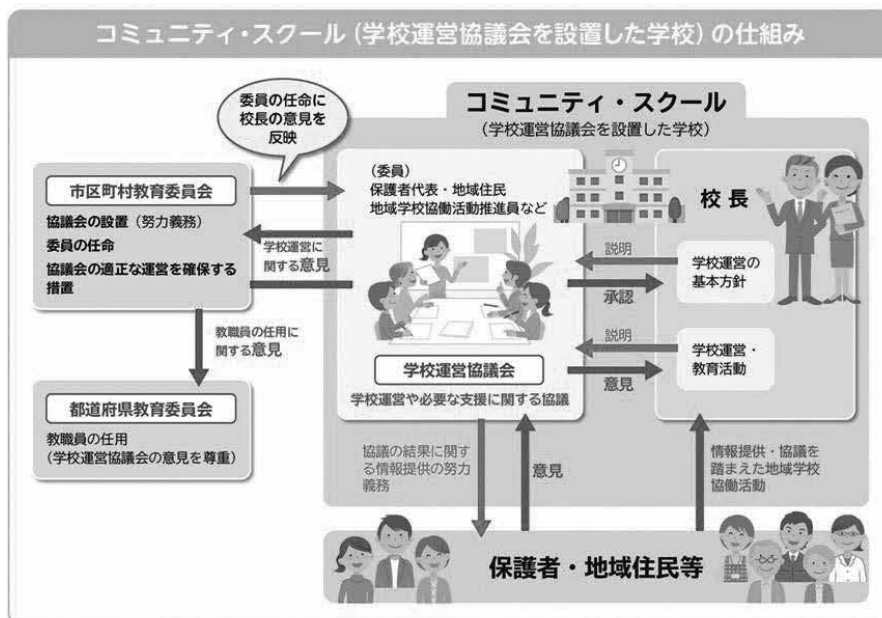


(1) コミュニティ・スクールとは

学校運営協議会を設置した学校のことで、学校運営に地域の声を活かす仕組みである。

学校運営協議会は、保護者代表、地域住民、有識者などで構成し、学校運営の基本方針や学校に必要な支援などについて協議し、様々な立場からご意見をいただいている。

学校と地域が同じ目標をもち、保護者や地域の方にも教育の当事者となることで、子供たちへの教育をより効果的に進めていくことができる。

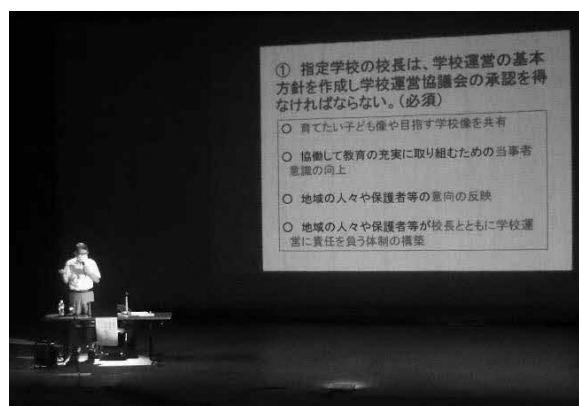


(これからの学校と地域、文部科学省、2020)

(2) コミュニティ・スクールの推進に向けて

各学校運営協議会へ教育委員会事務局から参加し、助言等を行っている。

また、学校運営協議会委員の当事者意識の涵養とコミュニティ・スクールの深化・発展を図るため、教職員や学校運営協議会委員を対象とした市教委主催の研修会を計画・実施するとともに、先進地視察等も計画している。



コミュニティ・スクール推進に向けた研修
(令和4年度竹原市学びのパワーアップフォーラム)

(3) コミュニティ・スクールの実際



吉名学園 (学習活動への参画)

総合的な学習の時間において、8年生の各グループの「商品開発プロジェクト」の発表を聞き、その場で各委員が意見を述べ、提案された内容について、商品化に向けて可能なものを一つに絞り、実現に向けての助言を行った。その他の学校においても、地域とともに特色ある活動を推進している。

6 幼保小連携教育について

本市では、今年度より、新たに「竹原市幼保小連携推進協議会」を立ち上げ、構成メンバーを、市内の認定こども園・保育所、小学校及び義務教育学校の所属長、さらに幼保小連携教育の担当の先生方とし、竹原市内の義務教育開始前後の子供たちの発達や学びの連続性をしっかりと保障していくことを目指し取り組んでいる。

(1) 幼保小の連携・接続の考え方

園・所等の教育・保育と小学校の教育においては、それぞれの段階における役割と責任を果たすとともに、それぞれの教育・保育の違いを踏まえ、小学校に入学した全ての子供が、園・所等での遊びや生活を通した育ちと学びを基礎としながら、安心感を持って新しい学校生活に円滑に移行し、自己を発揮し成長していくために、子供の育ちと学びの連続性を保障することが大切である。



市内認定こども園での保育の様子

そのため、園・所等での育ちと学びを小学校での学びにつなぐ教育活動を実践するために、小学校と園・所等が連携し、お互いの教育・保育を理解し、見通して、子供の育ちと学びを連続させていく幼保小連携教育の充実を図っていく。

(2) 竹原市幼保小連携推進協議会の設置

令和3年度に長期研修を受講した板垣教諭の理論と実践を生かし、スタートカリキュラムの実施期間である令和4年5月に、第1回の協議会を実施した。具体的子供たちの姿で授業を行ったため、接続カリキュラムを意識した協議を行うことができた。また、お互いのカリキュラムを小グループで交流することで、それぞれの学びにつながる手立てや過程について協議を行うことができた。



第1回幼保小連携推進協議会（令和4年5月 中通小学校）

さらに、所属長対象の協議では、幼保小連携推進協議会の実施要項の内容や、活動計画等について協議を行うことができた。

今後は、こども園等の保育を参観し、協議を行う場を設定するなど、合同研修会を計画的に実施することで、園所で育みたい資質・能力についての協議も深めていきたい。



第1学年授業の様子（令和4年5月 中通小学校）

6 学校給食

本市では、昭和22年に一部の学校でミルク給食が始められ、その後、昭和27年2月忠海西小学校における学校給食の開始を最初とし、現在では竹原市学校給食センターから小学校7校、中学校2校、義務教育学校2校の全小・中・義務教育学校へ、安心・安全な学校給食の提供を行っている。

給食内容は、基本方針に定めるとおり、食に関する指導の教材となるために、地場産物や旬の食材の使用や、家庭の食器に近く温かみのある磁器食器やはしの導入などの食事環境の改善に努めている。

竹原市学校給食センターで使用する食材選定は、「給食物資の調達に関する要綱」に基づき毎月入札を行い、公平かつ品質のよい食材の購入を図っている。また、市内の生産者等と連携しながら、市の特産物や地元で生産される旬の農作物を年間通して計画的に取り入れている。また、竹原市産の米を使用し、週3.5回を米飯とし、主食・主菜・副菜のそろった日本型の食事スタイルを基本に、できるだけ手作りで、焼く・蒸す・煮る・炒めるなどの変化のある献立づくりを図っている。

さらに、食育を推進していく中で、できるだけ個別対応ができるよう保護者の申請に基づき食物アレルギー等対応給食(除去食)を実施している。

(1) 施設の概要

名 称：竹原市学校給食センター

所 在 地：竹原市竹原町字明神1678番地27

敷地面積：1,868.25㎡(564.02坪)

建築面積：881.30㎡(266.65坪)

延床面積：848.09㎡(256.60坪)

構 造：鉄骨造 平屋建て

調理能力：2,300食/日

仕 様：完全ドライシステム

開 設：平成22年4月1日



(2) 学校給食センター職員体制

(令和4年5月1日現在)

所長	副所長	栄養 教諭	事務 職員	栄養士	調理員
〈1〉	1 〈1〉	〈1〉	1	1	(18)

() は民間委託職員

〈 〉 は兼務の職員

(3) 令和4年度事業計画

給食の提供：年間約200日、1日あたりの平均食数 約1,540食

給食費：小学校245円、中学校285円

学校訪問：給食訪問、給食試食会、教科等での指導、食育月間中の訪問

学校への食育情報発信：給食だより(毎月)、たべものあれこれ(毎月) 他

竹原市学校給食センター運営委員会の開催

7 食育推進について

各学校で食育推進リーダーを中心に、地域の特色を生かした食に関する指導計画を作成し、児童生徒へ各教科における食に関する指導を行っている。

中でも、栽培活動や調理などの体験学習は、児童生徒の食に対する興味関心を高めるとともに、食べ物や生産者への感謝の心が芽生え、学校給食の残菜率の低下などの成果がでている。

児童生徒の食に関する課題から、令和4年度「食べるの大好き竹原っこ」育成計画の具体目標を「朝ごはんの喫食率100%」「食事のマナーを身につけさせる」「食事の準備のできる子を育成する」「よく噛んで食べることの大切さを知らせる」の4点を掲げ、竹原市食育推進行動計画に則しながら継続的な取組を図っている。

「食べるの大好き竹原っこ」育成計画

学校・地域・家庭が共に育てる

児童生徒へ

○生きる力（心身の健康） ○作る喜び
○食べる楽しさ ○感謝の心

【具体目標】

1 朝ごはんの喫食率100%

朝ごはんを毎日食べる。

生活リズムを整え心身の健康を図るため、早寝早起き朝ごはんに気をつける。

2 食事のマナーを身につけさせる

はしの持ち方・食べる姿勢・正しい配膳ができ、食事のマナーを身に付ける。

3 食事の準備のできる子を育成する

小学校卒業までに、炊飯器でごはんを炊き、自分で1食分の食事を作ることができる。また、中学校・義務教育学校卒業までに自分の弁当を作ることができるようにする。

4 よく噛んで食べることの大切さを知らせる

よく噛んで食べたり、味わって食べる。

竹ちゃん給食

（児童生徒が考案した竹原ならではの料理）

食育の取組

- ・毎月1回…ひろしま産物 DAY
- ・毎月1回…竹ちゃん給食
- ・毎月19日…食育の日
- ・6月…竹原市食育月間
- ・10月…ひろしま食育ウィーク
- ・11月…いい歯の日
- ・1月…学校給食週間

月	料理名	月	料理名
4	竹ちゃんサラダ	11	峠下牛のタコライス
5	たけのこのクリーム煮	12	マーボーポテト
6	峠下牛とアヲハタマー マレードの甘辛炒め	1	じゃがいものみそ煮
7	夏野菜まんさいスープ	2	ジャーマンポテトエッグ
9	元気☆うまうま丼	3	竹原いっぱい丼
10	竹原中華サラダ		

Ⅶ 生涯学習の現況

1 生涯学習重点目標

生涯学習を推進するうえで、重要な役割を担う社会教育の充実を図るため、生涯学習の理念に基づき、豊かな生涯学習社会を築くことを目標に、生涯の各時期に「だれでも、いつでも、どこでも」学べる体制づくり、また、国際化、情報化、少子高齢化に対応する適切かつ有効な学習活動ができるよう学習機会の提供及び環境整備に努める。

令和4年度から、「竹原市社会教育・生涯学習推進ビジョン」を策定し、社会教育・生涯学習の取組を効率的に推進していくことを目指す。

(1) 生涯学習の推進

「生涯学習推進体制」の確立と学習支援体制の整備及び市民のニーズに対応する学習機会を充実して、市民の生涯学習を推進する。

(2) 生涯スポーツの振興

幼児から高齢者が生涯にわたりスポーツに親しみ、健康・体力づくりの推進を図り、健やかで豊かな生活を送るための普及・振興を推進する。

(3) 青少年の健全育成（市長部局補助執行）

自分たちの住む地域に関心を持ち、青少年の連帯や主体性を育てるとともに、地域ぐるみで青少年の健全育成を図る。

(4) 芸術・文化の振興

芸術文化活動を行う個人・団体の交流を促進し、活動の充実や人材の育成に努めるとともに、活動の場を増やし、連携による相乗効果につながる活動を支援する。

(5) 文化財の保存活用

市民一人ひとりが文化財に触れる機会を増やすことで、郷土の文化財について理解を深め、関係機関・団体と連携する中で、文化財の保存・継承・活用の充実を図る。

令和4年度 竹原市社会教育・生涯学習推進ビジョン



【基本目標】

多彩な生涯学習の場が充実し、それらを担い、推進していく人材（コーディネーター）の育成

【基本方針】

1
「学ぶ場・つながる場」
づくり

○多様な学習ニーズに応じた学習機会の提供
○生涯学習情報の提供

①ライフステージに応じた学習機会の充実
②地域課題に対応した学習機会の充実
③学びを通して交流・仲間づくりの推進
④市民が学び、交流できる施設環境の整備

2
「学びが循環する地域」
づくり

○学校と地域の協働による生涯学習の推進
○生涯学習を通じた地域人材の育成

①学校と地域が連携した取組の具体化
②コミュニティ・スクールと連動した地域の活性化

3
「スポーツ・文化活動の場」
づくり

○スポーツ・文化活動の普及
○団体を担う人材の育成
○スポーツ・芸術に親しむ機会の提供
○スポーツを生涯楽しむ環境の整備・充実

①団体の継続的活動に向けた支援
②団体間の交流の促進
③活動の成果を活かせる環境・機会の充実
④活動を通じた交流・仲間づくりの推進

4
「学校・家庭・地域が
つながる環境」
づくり

○子育てに関する学習機会の提供による
家庭教育力の向上
○家庭・学校・地域などの連携による
地域全体の教育力の向上

①地域の多様な主体との連携による学習機会の提供
②青少年の健全育成に向けた取り組みの充実
③学びを通して誰もが共に生きる環境の充実
④団体の継続的活動に向けた支援

庁内関係部署との連携

2 生涯学習施設

(1) 教育施設

施設名	所在地	構造	延床面積	施設内容	開始年月
竹原市民館	中央五丁目 5番24号	RC造 地上3階 地下1階	3,714.33 m ²	ホール, 料理教室, 会議室(5), 和室(3) 竹原地域交流センター併設	昭和43年10月
竹原市 歴史民俗資料館	本町三丁目 11番16号	木造 2階	242.03 m ²	展示室(3), 交流ホール	昭和55年6月
竹原市町並み 保存センター	本町三丁目 11番7号	RC造 2階	615.13 m ²	展示室, 収蔵室, 集会室, 研究室	昭和57年7月
旧松阪家住宅	本町三丁目 9番22号	木造 2階	449.25 m ²	玄関, 土間, 座敷, 蔵, 便所, 台所	昭和59年6月
旧光本家住宅	本町三丁目 7番4号	木造 平屋	156.02 m ²	和室, 展示室(今井政之 陶芸の館)	平成12年10月
旧森川家住宅	中央三丁目 16番33号	木造 2階	841.99 m ²	主屋, 離れ座敷, 茶室, 隠居部屋, 土蔵, 表門, 脇門, 塀	平成16年4月

(2) 体育施設

施設名	面積	施設の概要	所在地
市営テニスコート	1,502.89 m ²	テニスコート2面	竹原町3471番地
大井スポーツ広場	2,260.00 m ²	多目的グラウンド	下野町926番地5
忠海スポーツ広場	1,120.00 m ²	多目的グラウンド	忠海東町二丁目5040番地
宿根スポーツ広場	588.00 m ²	多目的グラウンド	下野町345番地
小梨スポーツ広場	2,706.00 m ²	多目的グラウンド	小梨町10385番地3
田万里スポーツ広場	3,246 m ²	多目的グラウンド	田万里町1241番地
田万里プール(休止)	225.00 m ²	25m×4コース	田万里町1229番地1
バンブー竹原市体育館	3,500.00 m ²	バレーボール2面, バドミントン8面, トレーニングルーム, 会議室	高崎町1414番地
バンブー多目的グラウンド	18,000.00 m ²	400mトラック(8コース), サッカー1面, ソフトボール2面	高崎町1414番地
バンブーテニスコート	11,000.00 m ²	テニスコート8面	高崎町1414番地

(3) 地域交流センター

施設名	所在地	構造 (建築年月)	延床面積	施設内容	開館年月日
忠海東 地域交流 センター	忠海東町五丁目 1 番 13 号	R C 造 2 階 (平成 3 年 1 月)	432.50 m ²	和室, 会議室, 料理実習室, 図書室, 集会室	平成 3 年 1 月 4 日
忠海 地域交流 センター	忠海中町二丁目 26 番 1 号	R C 造 2 階 (平成 6 年 6 月)	902.37 m ²	和室②, 生涯学習室, 図書室 料理実習室, 集会室	昭和 29 年 7 月 8 日
	竹原市忠海中町 二丁目 25 番 1 号	R C 造 2 階 (忠海支所に併設) (昭和 58 年 3 月)	550.29 m ²	大ホール	令和 4 年 4 月 1 日
大乗 地域交流 センター	高崎町 185 番地 7	R C 造 2 階 (昭和 57 年 4 月)	612.00 m ²	和室②, 会議室, 資料室, 図書室 展示室, 料理実習室, ホール	昭和 57 年 4 月 1 日
竹原 地域交流 センター	中央五丁目 5 番 24 号	R C 造 3 階 (竹原市民館に併設) (昭和 43 年 6 月)	3,714.33 m ²	ホール, 料理教室, 図書室 展示室会議室⑤, 和室③	昭和 52 年 4 月 19 日
小梨 地域交流 センター	小梨町 10381 番地 1	S 造平屋 (昭和 56 年 3 月)	299.97 m ²	和室②, 閲覧室, 料理実習室 集会室, 会議室	昭和 28 年 10 月 1 日
竹原西 地域交流 センター	竹原町 2377 番地 1	R C 造 2 階 (昭和 58 年 4 月)	620.00 m ²	和室③, 会議室②, ホール 料理実習室	昭和 58 年 4 月 23 日
中通 地域交流 センター	下野町 3478 番地	R C 造 2 階 (昭和 63 年 3 月)	604.47 m ²	和室②, 会議室③, 図書室 料理実習室	昭和 63 年 3 月 29 日
東野 地域交流 センター	東野町 887 番地	R C 造 2 階 (平成 1 年 3 月)	609.77 m ²	和室④, 会議室②, 図書室 料理実習室	昭和 28 年 10 月 11 日
莊野 地域交流 センター	西野町 2054 番地 1	R C 造 2 階 (平成 3 年 5 月)	606.75 m ²	和室②, 会議室④, 図書室 料理実習室	昭和 27 年 3 月 2 日
田万里 地域交流 センター	田万里町 1229 番地 1	R C 造 2 階 (平成 5 年 4 月)	1,554.25 m ²	和室②, 会議室, 図書室 料理実習室, 体育館	昭和 29 年 12 月 12 日
仁賀 地域交流 センター	仁賀町 1292 番地 1	木造平屋 (昭和 57 年 4 月)	180.94 m ²	和室②, 調理実習室, 集会室	昭和 31 年 9 月 18 日
大井 地域交流 センター	下野町 1525 番地	R C 造 2 階 (平成 4 年 3 月)	608.24 m ²	和室④, 会議室, 図書室 調理実習室	昭和 38 年 5 月 25 日
吉名 地域交流 センター	吉名町 4956 番地 22	R C 造 2 階 (昭和 60 年 4 月)	660.00 m ²	和室 (1) ②, 会議室 (1) ② (3) ホール 調理実習室	昭和 34 年 6 月 10 日

竹原市文化財一覧表

種別		名称	所在	指定年月日
国	重要文化財	銅鐘（高麗鐘）	本町三丁目 13-1	明治 43 年(1910)4 月 20 日
		春風館頼家住宅	本町三丁目 7-24	昭和 63 年(1988)12 月 19 日
		復古館頼家住宅	本町三丁目 7-26	昭和 63 年(1988)12 月 19 日
	天然記念物	スナメリクジラ廻游海面	高崎町阿波島南端	昭和 5 年(1930)11 月 19 日
		忠海八幡神社社叢	忠海中町三丁目 7-15	昭和 11 年(1936)9 月 3 日
	重要伝統的建造物群保存地区	竹原市竹原地区 伝統的建造物群保存地区	本町一丁目、三丁目、 四丁目の一部	昭和 57 年(1982)12 月 16 日 選定
	登録有形文化財	旧日の丸写真館	本町一丁目 3-6	平成 26 年(2014)12 月 19 日
県	重要文化財	木造十一面観音立像	本町三丁目 10-44	昭和 37 年(1962)3 月 29 日
		木造聖観音菩薩坐像	吉名町観音谷	昭和 53 年(1978)1 月 31 日
	史跡	磯宮	田ノ浦一丁目 6-8	昭和 12 年(1937)5 月 28 日
		唐崎常陸介之墓	本町一丁目 16-22	昭和 17 年(1942)6 月 9 日
		頼惟清旧宅	本町三丁目 12-21	昭和 32 年(1957)9 月 30 日
		木村城跡	新庄町末宗	昭和 48 年(1973)3 月 28 日
	天然記念物	忠海のウバメガシ樹叢	忠海床浦一丁目 12-27	昭和 12 年(1937)5 月 28 日
		楠神社のクスノキ	忠海長浜三丁目 8-1	平成 4 年(1992)10 月 29 日
	無形民俗文化財	福田のししまい	福田町中谷稲生神社	昭和 56 年(1981)4 月 17 日
		忠海の祇園祭みこし行事	忠海中町三丁目 7-15	昭和 59 年(1984)11 月 19 日
市	重要文化財	光海神社棟札	吉名町宮条 2046	昭和 46 年(1971)12 月 27 日
		吉名八幡宮法楽連歌	吉名町宮条 2046	昭和 46 年(1971)12 月 27 日
		駕籠	忠海床浦二丁目 10-1	昭和 46 年(1971)12 月 27 日
		弾薬輸送庫	忠海床浦二丁目 10-1	昭和 46 年(1971)12 月 27 日
		旧松阪家住宅	本町三丁目 9-22	昭和 60 年(1985)4 月 10 日
		西方寺普明閣・お籠堂	本町三丁目 10-44	昭和 62 年(1987)12 月 26 日
		紙本著色竹原絵屏風	本町三丁目 7-24	平成 2 年(1990)2 月 14 日
		旧森川家住宅	中央三丁目 16-33	平成 16 年(2004)7 月 21 日
		旧吉井家住宅	本町三丁目 8-19	平成 30 年(2018)12 月 21 日
		木造裸形着装阿弥陀如来立像	東野町 885 番地	令和 3 年（2021）8 月 26 日
		史跡	福田社倉	福田町中谷 1571
	郷賢祠		田ノ浦二丁目	昭和 38 年(1963)9 月 13 日
	横大道古墳群		新庄町鷲ノ森 331	昭和 38 年(1963)9 月 13 日
	田万里鏡田古墳群		田万里町鏡田	昭和 38 年(1963)9 月 13 日
	能島村上氏の遺跡		竹原町 124 外	平成 4 年(1992)12 月 24 日
	東永谷製鉄遺跡		下野町 966-1, 974-1 の一部	平成 20 年(2008)10 月 22 日
	無形民俗文化財	田万里八幡神社 当屋祭オハケ神事	田万里町 1222	平成 25 年(2013)10 月 24 日
	天然記念物	宿根の大桜	下野町字宿郷 359	平成 26 年(2014)4 月 24 日
		竹原町の長寿ブドウ (キャンベル・アーリー種)	竹原町字皆実新開 1786 番 2	令和 3 年（2021）8 月 26 日

VIII 図書館

1 館 名 市立竹原書院図書館

2 所在地 竹原市下野町3308番地（〒725-0012）

TEL 0846-22-0778

FAX 0846-22-1072

ホームページ <http://takeharashoin.jp/>

メールアドレス library@takeharashoin.jp

3 開館時間・休館日

開館時間 午前10時～午後6時

休 館 日 毎週月曜日（祝日の時は開館，直後の祝日ではない日に振替）

館内整理日，特別整理期間

年末年始（12月28日～1月4日）

4 施設・設備 フジ竹原店テナント敷地内（平成30年4月1日から仮移転）

建物面積 502.2 m²

児童コーナー 55.03 m² 一般図書コーナー 286.07 m²

事務室・作業室 161.1 m²

5 館の概要

(1) 名称の由来

寛政5年（1793年）に郷土の先賢によって，子弟のために設けられた郷塾からはじまり，その後，明治43年（1910年）有志の手によって，社団法人「竹原書院」の名称で図書館活動が受け継がれた。昭和4年（1929年）に町立図書館「竹原書院」となり，昭和33年（1958年）の市制施行により，「竹原市立書院図書館」に，そして，その後現在の「市立竹原書院図書館」となった。

(2) 所蔵の特色

「竹原書院」時代から，受け継がれた江戸時代の製塩業関係古文書，竹原の歴史・風俗が書かれた和本・古地図や頼山陽に関する刊行された資料を多数収集・所蔵している。

(3) 移動図書館車

利用者の利便性向上のため，昭和57年10月から，移動図書館車「わかたけ号」を市内ステーションに定期的に巡回している。

(4) 電子図書館

令和2年11月から、市内在住の図書館利用登録者が利用できる電子図書サービスを行っている。

6 分類別蔵書数

(令和4年3月31日現在)

区 分 分 類		蔵 書 数	年 間 増 加 冊 数		
			受 入	廃 棄 等	小 計
0. 総 記		13,091	166	32	134
1. 哲 学		6,838	147	71	76
2. 歴 史		16,960	142	333	-191
3. 社 会 科 学		22,839	358	284	74
4. 自 然 科 学		12,298	304	153	151
5. 工 学		12,686	253	181	72
6. 産 業		5,794	101	26	75
7. 芸 術		13,714	200	77	123
8. 語 学		2,750	77	15	62
9. 文 学		91,311	1,696	1,258	438
計		198,281	3,444	2,430	1,014
内	児 童 書	51,219	1,064	1,224	-160
	郷 土	17,320	219	0	219
その他（漫画図書）		2,063	0	218	-218
蔵 書 冊 数		200,344 冊			

令和3年度受入内訳

購 入	3, 2 4 2 冊
寄 贈	1 8 7 冊
そ の 他	1 5 冊
遡及入力	0 冊
計	3, 4 4 4 冊

7 郷土資料

区 分	内 容	冊 数 ・ 点 数
図 書	竹原市内に関するもの	9,082
	広島県内に関するもの	8,221
近 世 文 書	市史編さん史料として、合併町村から集めたもの、及び竹原塩田関係史料	約 20,000
古地図・拓本類	江戸時代の古地図（軸物）と、郷土に関した拓本類	32

8 利用状況

(1) 開館日数（令和3年度）

・本館	290日
・移動図書館車	61日

(2) 図書館の利用

		本館	移動図書館車	合計
個人貸出	登録者数	15,398	—	15,398
	貸出者数	29,107	4,550	33,657
	貸出冊数	136,905	13,442	150,347
団体貸出	団体登録者数	110	—	110
	貸出冊数	6,863	35,225	42,088
停本所	停本所数	10	—	10
	貸出冊数	10,097	—	10,097
貸出冊数合計		153,865	48,667	202,532

IX たけはら美術館

1 館 名 たけはら美術館

2 所在地 竹原市中央五丁目6番28号（〒725-0026）
TEL・FAX 0846-22-2328（文化生涯学習課内）
ホームページ <http://www.city.takehara.lg.jp/>

3 施設・設備

《たけはら合同ビル面積概要》

【内訳】

敷地面積	4,911.09㎡	広島県	5,086.35㎡
建築面積	1,886.14㎡	竹原市	1,573.22㎡
延床面積	7,783.93㎡	(たけはら美術館)	
		商工会議所	1,124.36㎡

《たけはら美術館面積概要》

1階	文化創造ホール（展示室3）	339.13㎡	放送室	6.33㎡
	事務室	25.84㎡	ロビー	116.06㎡
	研究室	21.47㎡	その他	106.08㎡
	倉庫	110.51㎡		
2階	アートギャラリー・池田コレクション（展示室1・2）	446.40㎡		
	その他	112.71㎡		
	収蔵庫	61.25㎡		

4 館の概要

たけはら美術館は、広島県、竹原市並びに竹原商工会議所が合同で建設した「たけはら合同ビル」の一角に、本市の芸術・文化振興の拠点として、美術品の鑑賞の機会を提供し、広く文化活動のために利用していただくため、平成4年11月1日に開館した。

当館は、本市出身の元内閣総理大臣池田勇人氏が生前愛蔵し、昭和41年に故人の遺志を受けてご遺族から寄贈された美術品（池田コレクション）を所蔵している。

池田コレクションは、竹原にゆかりのある江戸後期の儒学者頼山陽（書）の他、狩野芳崖、横山大観、川合玉堂（日本画）、藤田嗣治（素描）、安井曾太郎（油彩画）、棟方志功（水彩画）等、約150点を所蔵している。

※ 令和2年4月1日から、たけはら美術館は休館中。

5 収蔵品数

(令和4年4月現在)

区 分	池田コレクション	その他の収蔵品	合 計
日 本 画	46	17	63
油 彩 画	6	40	46
水 彩 画	1	0	1
パステル	1	0	1
素 描	1	17	18
書	22	55	77
彫 塑	6	13	19
工 芸	18	24	42
版 画	0	12	12
そ の 他	47	76	121
合 計	148	254	402

6 文化創造ホール利用状況

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利 用 日 数	87 日	47 日	66 日
展示会	42 日	27 日	34 日
文化講演・講座	0 日	0 日	0 日
演奏会等	0 日	0 日	0 日
参加型イベント	0 日	0 日	0 日
講習会等	27 日	11 日	17 日
展覧会等準備日数	18 日	9 日	15 日
利用件数	28 件	11 件	21 件
年間入場者数	5,758 人	2,335 人	2,717 人
1日平均入場者数	66.2 人	49.68 人	41.16 人

X 令和4年度竹原市教育委員会の主要な事業

1 竹原市教育大綱【令和元年度～令和5年度】

第6次竹原市総合計画～前期基本計画～を構成する4つの将来像のうち、「“文教のまちたけはら”の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち」「自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいなるまち」を目指すため、竹原市教育大綱では、『故郷を大切にし、未来を拓く人づくり』を基本理念として設定しました。

この基本理念を実現するため、総合計画の施策の方向性を活かしつつ、「学校教育」、「生涯学習・青少年育成」、「歴史・文化財」の3項目を柱とした上で、10年後の目指す姿を掲げ、取組の方向性を示しています。

将来像

- 【人材】「“文教のまちたけはら”の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち」
- 【個性】「自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいなるまち」

目標像

- 【人材】子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている
- 【人材】市民一人一人が自ら学び、様々な場面で協力しながら活躍している
- 【個性】竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれている

教育大綱：3つの柱【10年後の目指す姿⇒取組の方向性

- 【人材】学校教育
夢を持ち、多様な人々と協働し、社会を主体的にすることができる人材を育成している
- 【人材】生涯学習・青少年育成
・多彩な生涯学習の場が充実し、それらを担い、推進していく人材が育っている
・教育上特別な配慮を必要とする児童生徒等への適切な支援をはじめ、乳幼児から青少年まで健全に成長できる環境が充実している
- 【個性】歴史・文化財
歴史と文化財が保存・継承され、地域の活性化に活かされている

基本理念：故郷を大切にし、未来を拓く人づくり

2 令和4年度竹原市教育委員会の主要な事業

竹原市教育大綱に基づき、重点的に取り組む施策を推進するための事務事業は次のとおりです。

① 学校教育

夢を持ち、多様な人々と協働し、社会を主体的に生き抜くことができる人材を育成している

重点的施策	事業内容	担当課
地域とともにある信頼される学校づくりの推進	学校の自主性・自立性の確立	総務学事課
	人材育成の推進	総務学事課
	開かれた学校づくりの推進	総務学事課
幼保小連携教育の推進	幼保小連携の推進	総務学事課
	幼保小接続カリキュラムの編成・実施	総務学事課
「確かな学力」の向上	基礎学力の定着・向上	総務学事課
	主体的な学びの創造	総務学事課
	I C T活用教育の推進	総務学事課
	特別支援教育の推進	総務学事課
	ことばの教育の推進	総務学事課
	授業改善の推進	総務学事課
「豊かな心」の育成	体験活動の充実	総務学事課
	道徳教育の充実	総務学事課
	生徒指導の充実	総務学事課
	伝統・文化等に関する教育の推進	総務学事課
	キャリア教育の推進	総務学事課
「健やかな体」の育成	健康教育の充実	総務学事課
	体力づくりの充実	総務学事課
	食育の充実	総務学事課
充実した教育環境づくり	小中一貫教育の推進	総務学事課
	学校の適正配置	総務学事課

② 生涯学習・青少年育成

- ・多様な生涯学習の場が充実し、それらを担い、推進していく人材が育っている
- ・教育上特別な配慮を必要とする児童生徒等への適切な支援をはじめ、乳幼児から青少年まで健全に成長できる環境が充実している

重点的施策	事業内容	担当課
生涯学習拠点・機会の充実	拠点施設の周知広報と学校や文化活動団体等との連携による利用促進	文化生涯学習課
	地域課題やニーズに応じた講座等の提供	文化生涯学習課
学校と地域の協働による生涯学習の推進	学校と地域の連携強化による生涯学習環境の充実	文化生涯学習課
	生涯学習を通じた地域活動の担い手の育成	文化生涯学習課
スポーツ・芸術の振興	普及、指導団体を担う人材の育成	文化生涯学習課
	各種スポーツ・文化芸術イベントの開催	文化生涯学習課
家庭・学校・地域等の連携による教育力向上の推進	子育てに関する学習機会の提供による家庭教育力の向上	社会福祉課
	家庭、学校、地域等の連携による地域全体の教育力の向上	社会福祉課

③ 歴史・文化財

歴史と文化財が保存・継承され、地域の活性化に活かされている

重点的施策	事業内容	担当課
文化財の保存・継承の推進	文化財及び歴史資料の調査・記録	文化生涯学習課
	文化財の指定・登録による保存・継承	文化生涯学習課
	町並み保存地区における伝統的建造物の保存修理と修景による歴史的景観の保全	文化生涯学習課
文化財の活用の推進	文化財の公開活用の促進	文化生涯学習課
	文化財の適正な維持管理	文化生涯学習課
	歴史的建造物の活用に向けた取組	文化生涯学習課
歴史資産の普及啓発の推進	歴史・文化財に関する講座等の開催による普及啓発	文化生涯学習課
	文化財に関する情報発信	文化生涯学習課